



# 2018年3月期 第2四半期決算説明会資料

2017年11月

株式会社タカギセイコー [JASDAQ 証券コード:4242]

<http://www.takagi-seiko.co.jp/>

- 注 ● 当資料に記載された内容は、2017年11月現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した経営計画に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。また、業績見通し等の数値はその正確性を保証するものではありません。投資に際しての最終的なご判断は、お客様ご自身がされるようお願い致します。
- 本資料は弊社の著作物であり、弊社の事前の承諾なく、本資料の全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

## [1] タカギセイコー プロフィール

---

## [2] 2018年3月期 上期決算概況

---

## [3] 2018年3月期 通期業績見通し

---

## [4] 中長期対応方針の取り組みについて

---

## [5] 参考資料

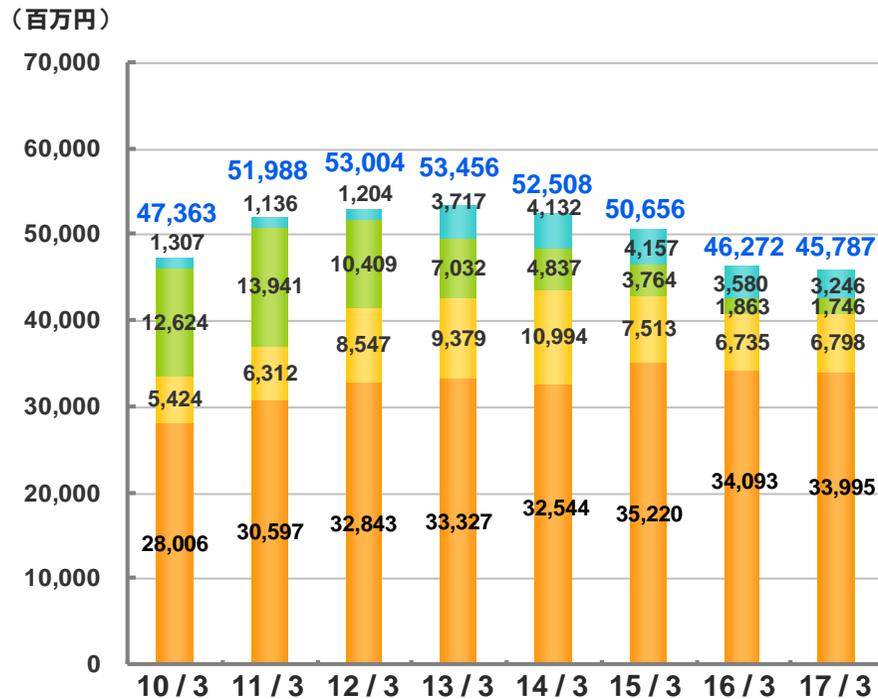
---

# プラスチックの可能性に挑戦する タカギセイコー

社名	株式会社タカギセイコー（TAKAGI SEIKO CORPORATION）
創業	1931年4月 高木漆器店開業
設立	1959年8月（株）高木製作所設立
本社	富山県高岡市二塚322番地の3
代表者	代表取締役社長 八十島清吉
資本金	2,104 百万円（2017年9月末）
売上高	45,787 百万円（2017年3月期、連結）
従業員数	3,005 名（2017年9月末、連結）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 成形品事業（プラスチック製品及びその金型の製造）</li><li>○ その他事業（一般通信機器端末及び損害保険商品の販売・自動車等の販売及び修理等）</li></ul>
連結子会社	国内3社、海外7社（2017年9月末） 持分法適用関連会社：国内1社、海外1社

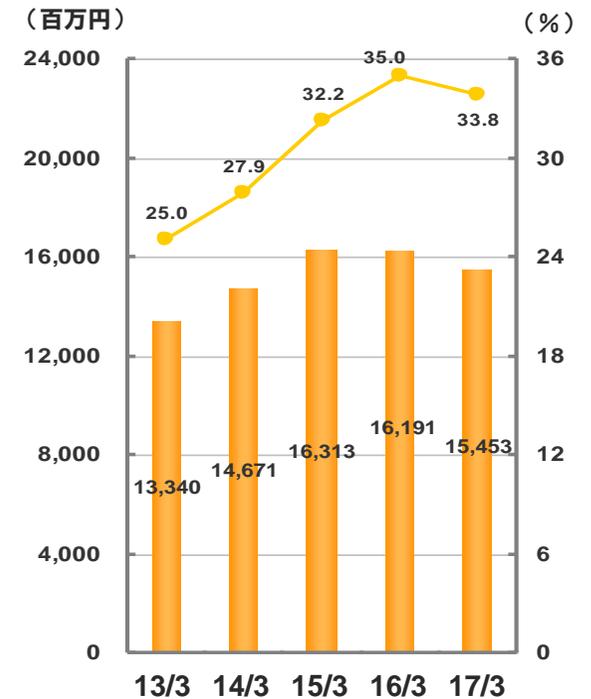
## 分野別売上高

[内訳] 車両 OA 通信 その他

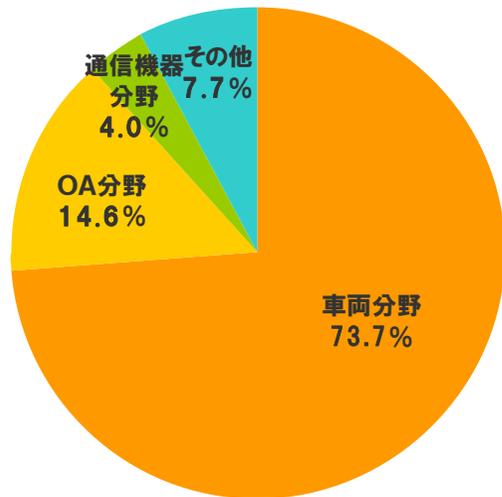


## 海外売上高

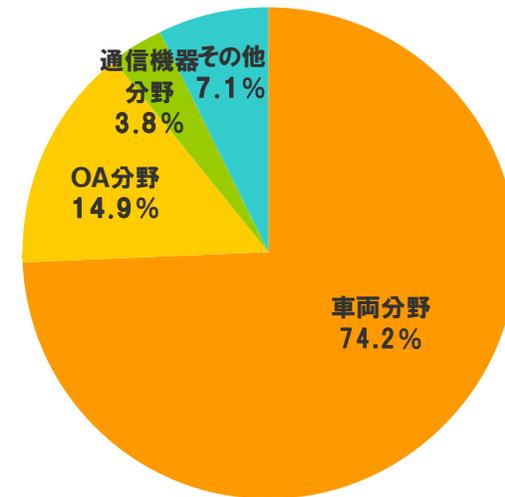
海外売上高 海外売上高比率



## 2016年3月期 分野別売上高



## 2017年3月期 分野別売上高



### 【車両分野 主要販売先】

アイシン化工	スズキ	日野自動車
川崎重工業	日産自動車	本田技研工業
小松製作所	日立建機	ヤマハ発動機

### 【OA分野 主要販売先】

東光東芝	三菱電機
東レ	リコー
富士ゼロックス	

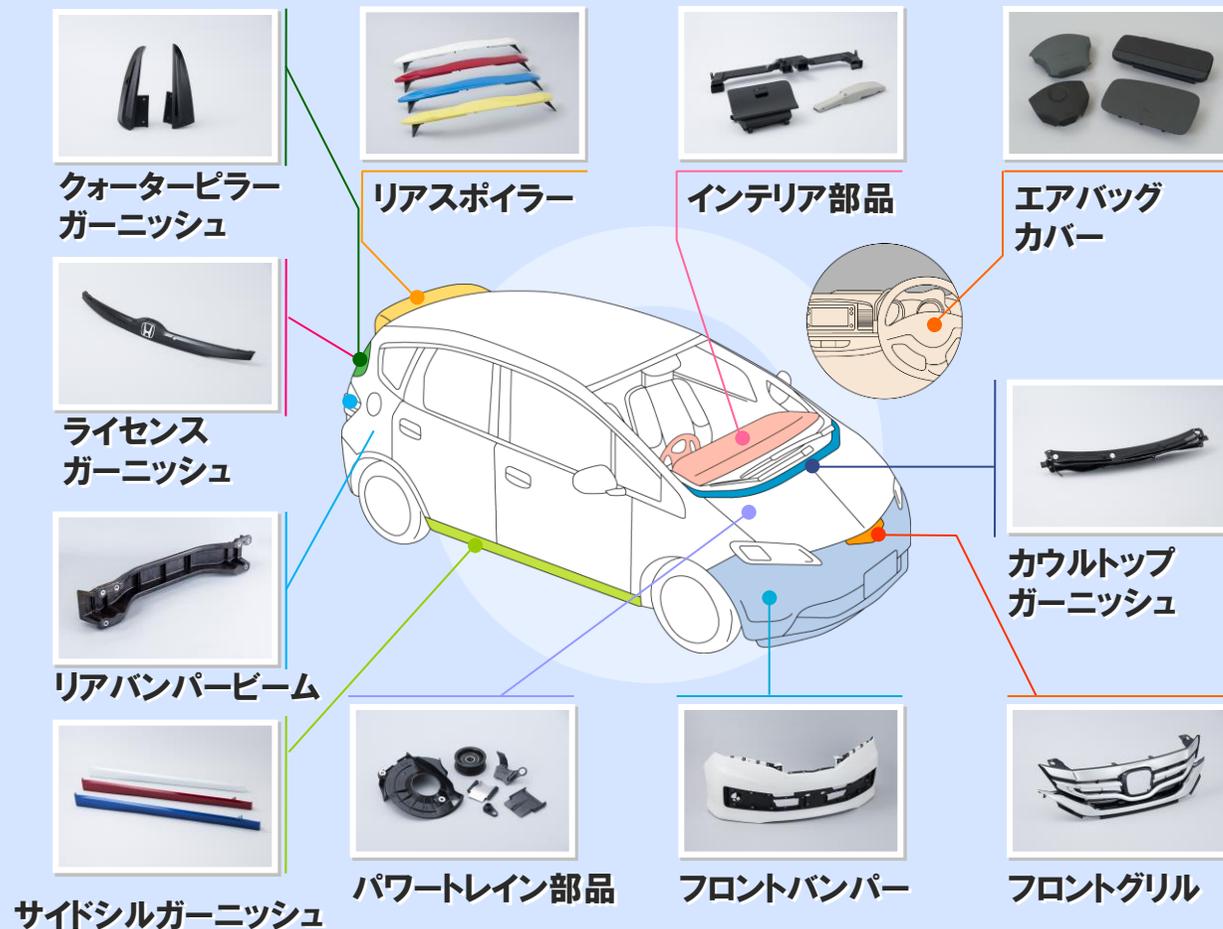
### 【通信機器分野 主要販売先】

富士通

(50音順)

# 主力製品（車両分野）

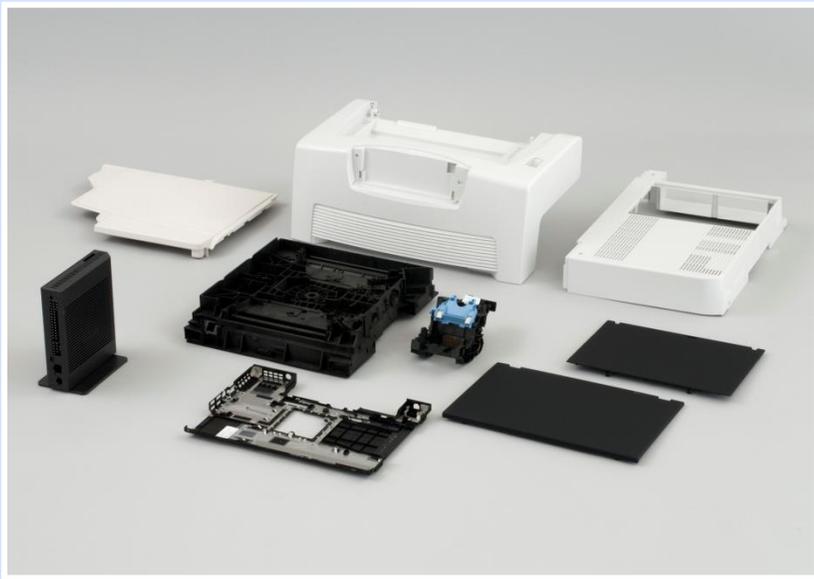
## 〔四輪〕



## 〔二輪〕

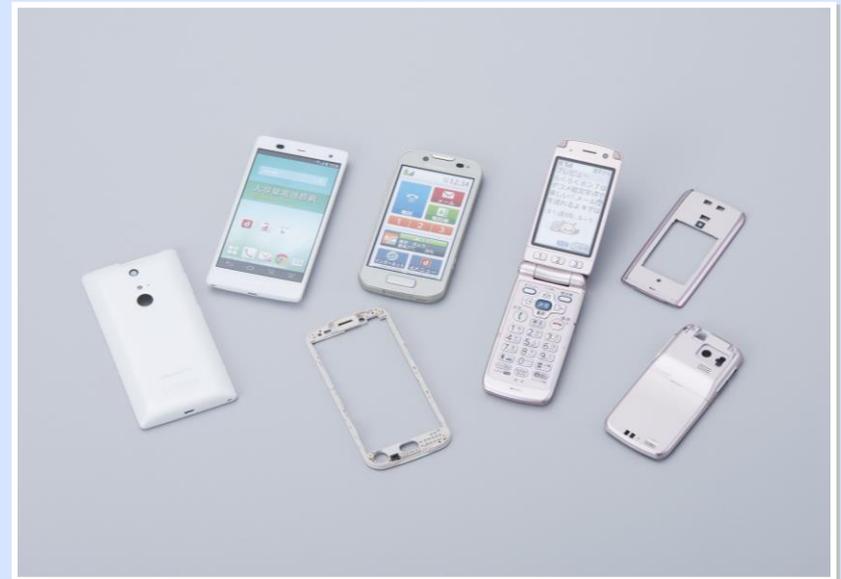


## [OA分野]



複写機の機構・外装部品  
プリンタの機構・外装部品  
パソコン筐体部品

## [通信機器分野]



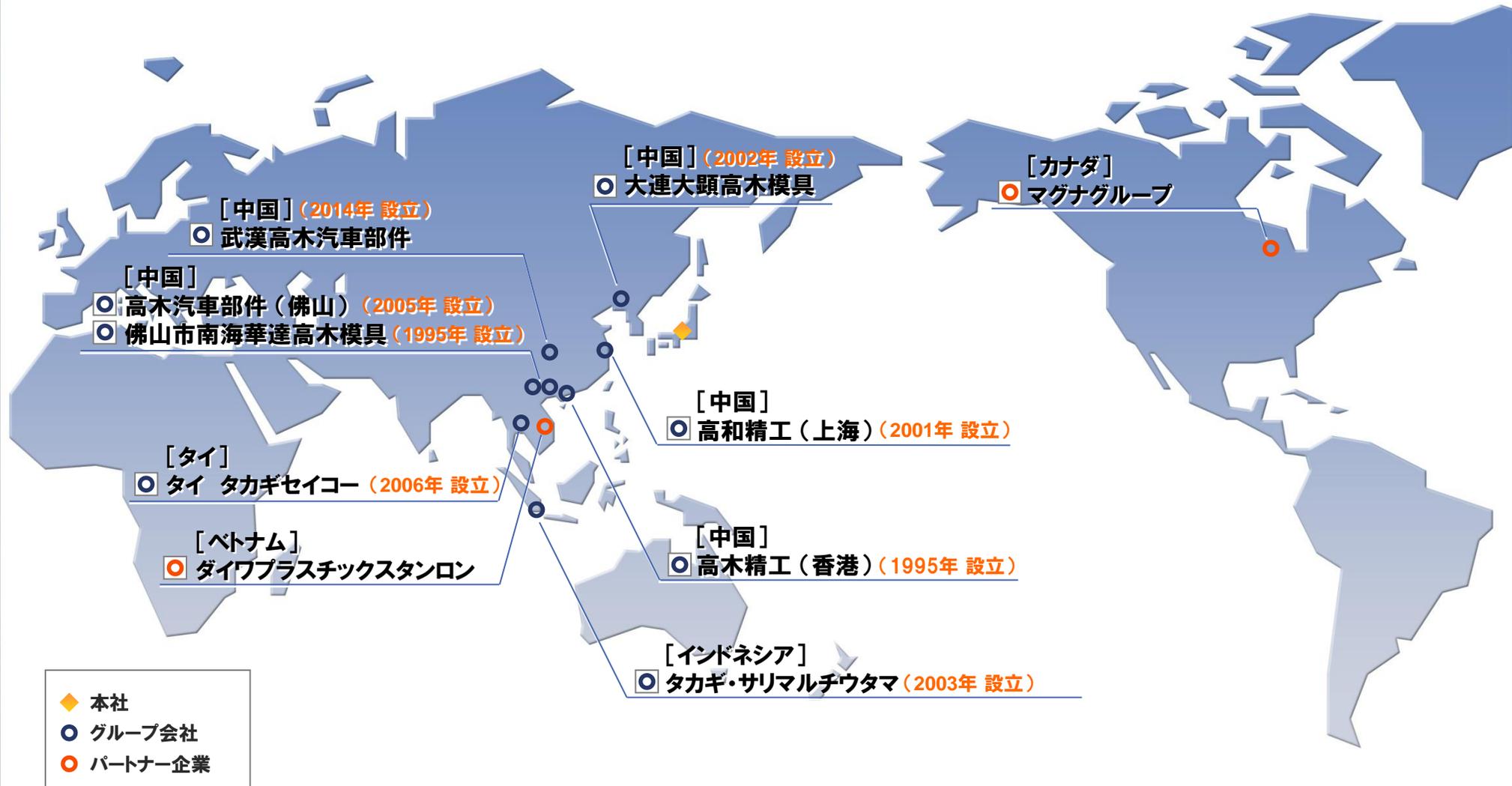
スマートフォンの筐体  
携帯電話の筐体

# 関連会社と拠点網（国内）



2017年9月30日現在

# 関連会社と拠点網（海外）



2017年9月30日現在

# 2018年3月期 上期決算概況

# 上期 決算概況

(単位:百万円)

	2017年3月期 上期		2018年3月期 上期 (期初予想)	2018年3月期 上期 (実績)		増 減		期初予想比 増減
	金 額	売上比	金 額	金 額	売上比	金 額	率	金額 (%)
売上高	20,554	100.0%	22,780	23,797	100.0%	3,243	15.8	1,017 (4.5)
営業利益	965	4.7%	500	1,076	4.5%	110	11.5	576 (115.2)
経常利益	689	3.4%	280	948	4.0%	258	37.5	668 (238.7)
四半期純利益	344	1.7%	▲110	502	2.1%	158	46.1	612 (-)
設備投資額	1,061	—	2,950	2,109	—	1,047	98.7	▲840 (-28.5)
減価償却費	1,379	—	1,660	1,506	—	126	9.2	▲153 (-9.3)
為替レート								
中国人民幣元	15.39		16.36	16.52		1.13		0.16
香港ドル	13.47		14.93	14.86		1.39		▲0.07
インドネシアルピア	0.0091		0.0097	0.0096		0.0005		▲0.0001
タイバーツ	3.01		3.31	3.37		0.36		0.06

# 上期 所在地別の概況

## 売上高

(単位:百万円)

	2017年3月期 上期		2018年3月期 上期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
日本	12,374	60.2%	13,245	55.6%	870	7.0%
中国	4,659	22.7%	6,683	28.1%	2,024	43.4%
東南アジア	3,520	17.1%	3,869	16.3%	349	9.9%
連結売上高	20,554	100.0%	23,797	100.0%	3,243	15.8%

## 営業利益

(単位:百万円)

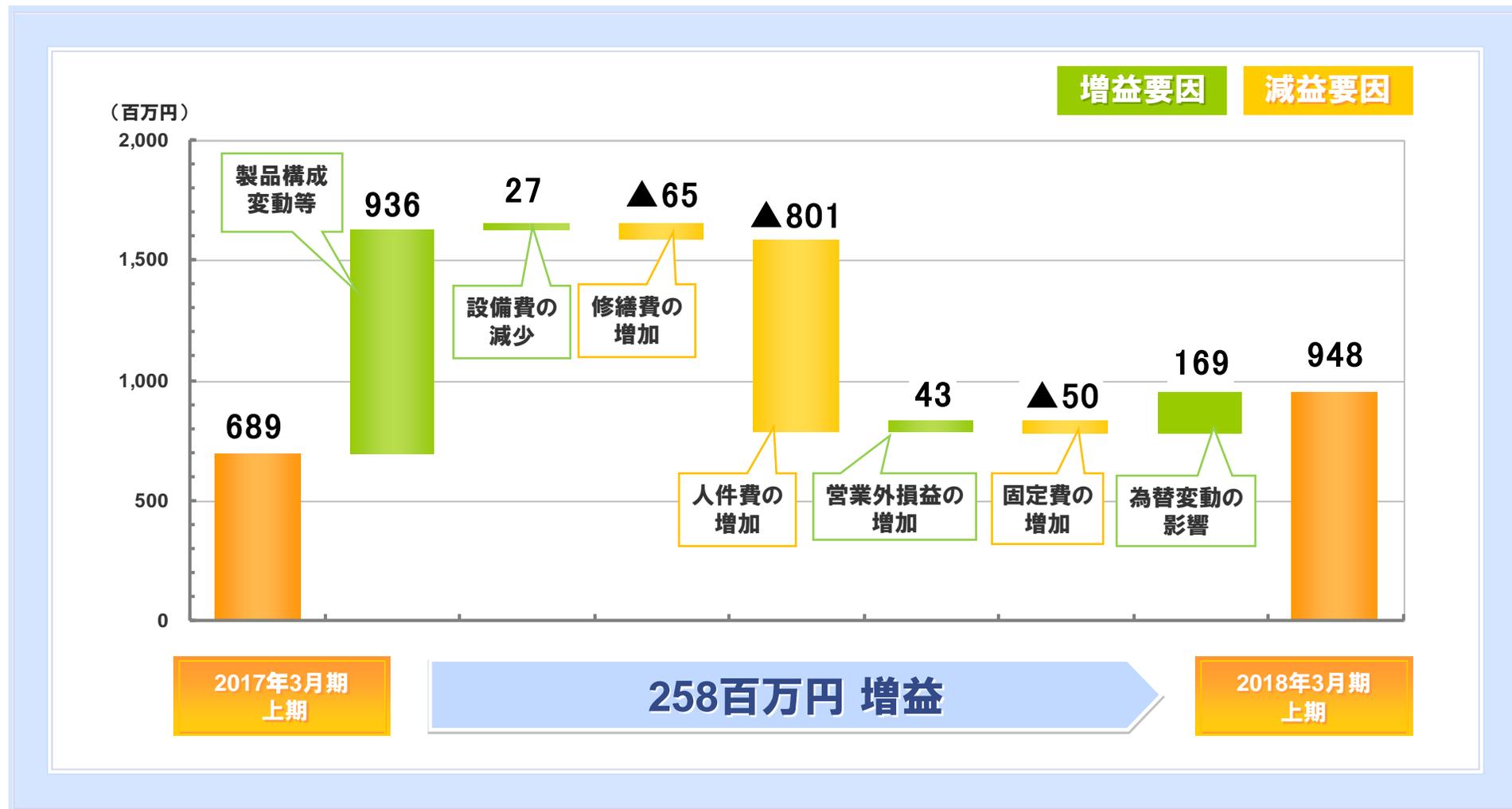
	2017年3月期 上期		2018年3月期 上期		増減	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	率
日本	▲48	-0.4%	▲4	-0.0%	44	—
中国	763	16.4%	847	12.7%	83	11.0%
東南アジア	314	8.9%	232	6.0%	▲82	-26.2%
消去	▲64	—	0	—	64	—
連結営業利益	965	4.7%	1,076	4.5%	110	11.5%

# 上期 分野別売上概況

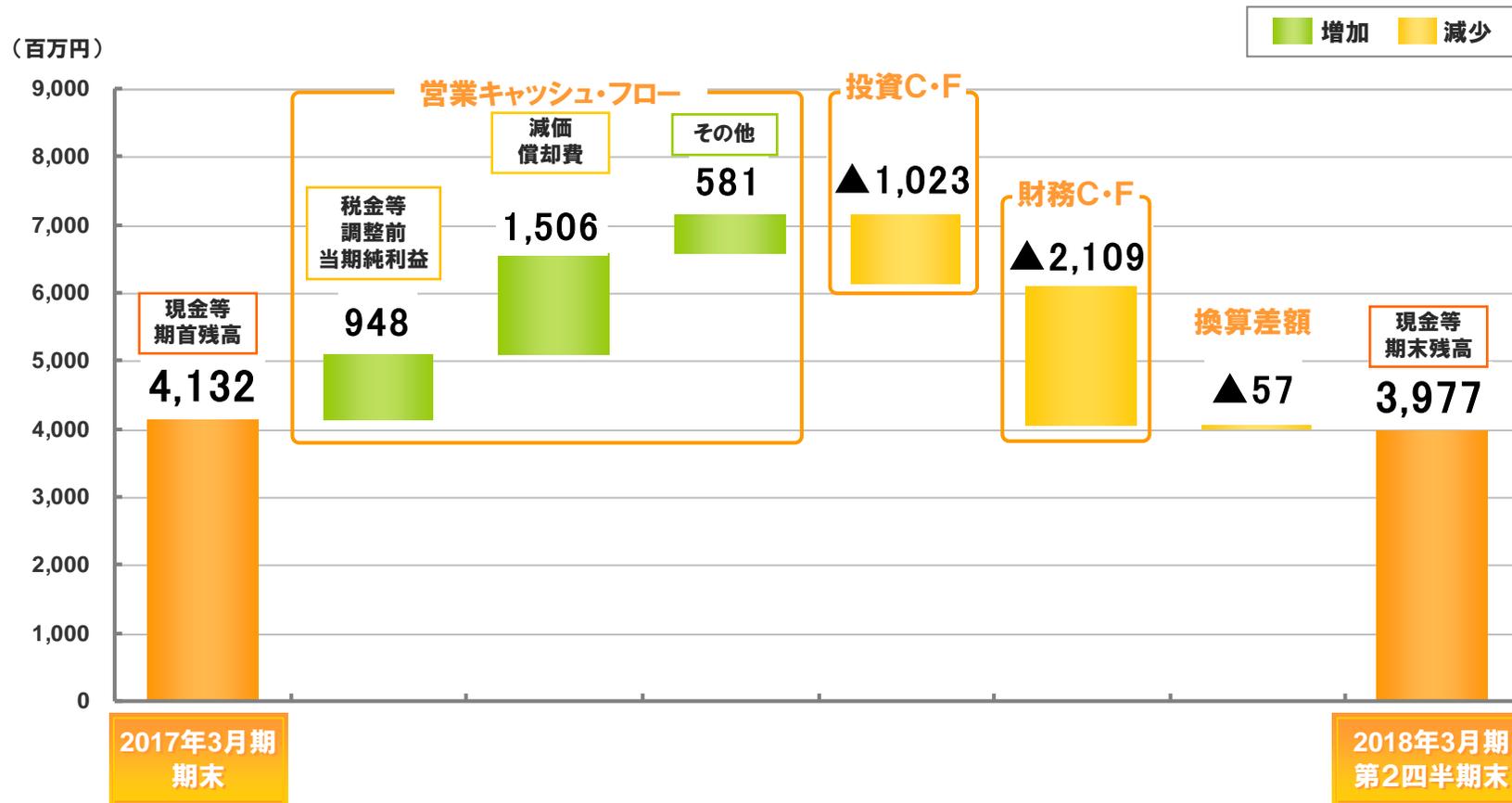
(単位:百万円)

	2017年3月期 上期		2018年3月期 上期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
車両分野	15,262	74.2%	17,530	73.7%	2,267	14.9%
国内	9,046	44.0%	9,878	41.5%	831	9.2%
海外	6,215	30.2%	7,651	32.2%	1,435	23.1%
OA分野	3,053	14.9%	4,345	18.2%	1,291	42.3%
国内	1,089	5.3%	1,444	6.1%	354	32.5%
海外	1,963	9.6%	2,901	12.2%	937	47.8%
通信機器分野	724	3.5%	521	2.2%	▲203	-28.0%
国内	724	3.5%	521	2.2%	▲203	-28.0%
海外	0	0.0%	0	0.0%	0	0%
成形品事業	19,039	92.6%	22,396	94.1%	3,356	17.6%
その他の事業	1,514	7.4%	1,401	5.9%	▲112	-7.5%
連結売上高	20,554	100.0%	23,797	100.0%	3,243	15.8%

# 上期 経常利益増減分析



# キャッシュ・フロー増減要因



# 2018年3月期 通期業績見通し

# 通期業績見通し(連結)

(単位:百万円)

	2017年3月期		2018年3月期 予想 (10月31日修正)		増減	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	率
売上高	45,787	100.0%	49,660	100.0%	3,872	8.5%
営業利益	2,605	5.7%	2,270	4.6%	▲335	-12.9%
経常利益	2,261	4.9%	1,960	3.9%	▲301	-13.3%
当期純利益	1,362	3.0%	1,000	2.0%	▲362	-26.6%
設備投資額	4,235	—	4,420	—	184	4.4%
減価償却費	2,926	—	3,300	—	373	12.8%

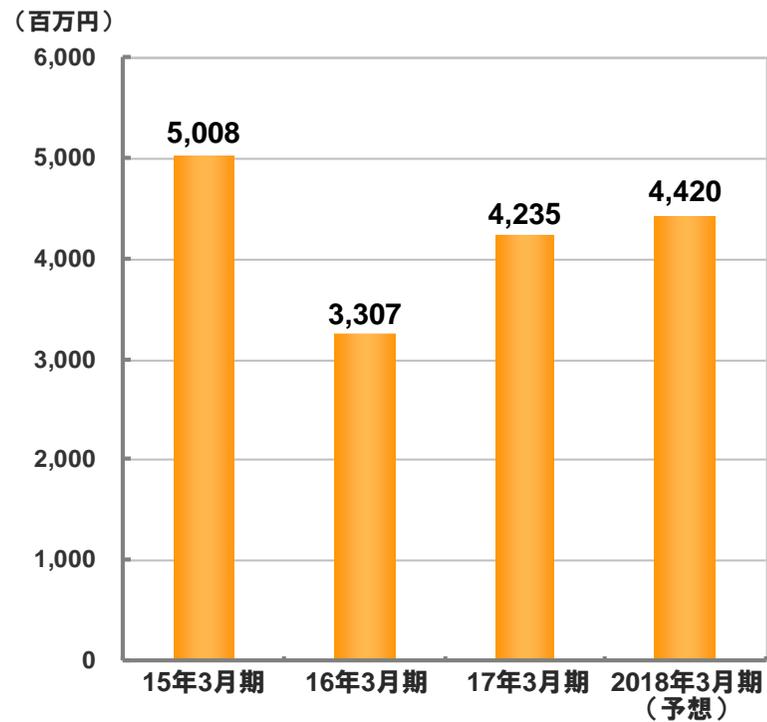
為替レート	2017年3月期	2018年3月期 予想 (10月31日修正)	増減
中国人民元	16.84	16.75	▲0.09
香港ドル	14.87	14.54	▲0.33
インドネシアルピア	0.0099	0.0095	▲0.0004
タイバーツ	3.32	3.41	0.09

# 通期分野別売上見通し(連結)

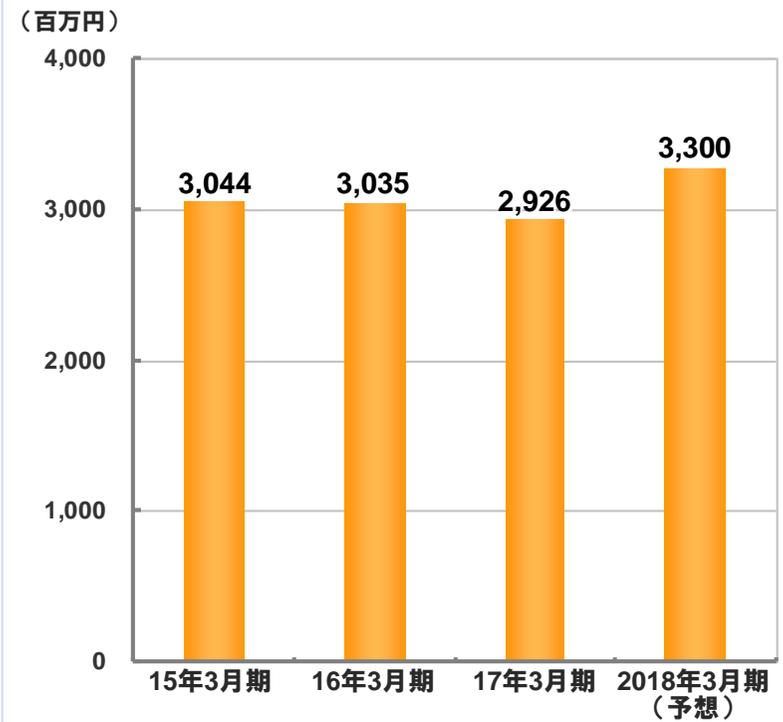
(単位:百万円)

	2017年3月期		2018年3月期 予想 (10月31日修正)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
<b>車両分野</b>	<b>33,995</b>	<b>74.2%</b>	<b>37,154</b>	<b>74.8%</b>	<b>3,158</b>	<b>9.3%</b>
国内	19,501	42.6%	21,707	43.7%	2,205	11.3%
海外	14,493	31.7%	15,447	31.1%	953	6.6%
<b>OA分野</b>	<b>6,798</b>	<b>14.9%</b>	<b>8,409</b>	<b>16.9%</b>	<b>1,610</b>	<b>23.7%</b>
国内	2,489	5.4%	2,981	6.0%	491	19.7%
海外	4,308	9.4%	5,428	10.9%	1,119	26.0%
<b>通信機器分野</b>	<b>1,746</b>	<b>3.8%</b>	<b>832</b>	<b>1.7%</b>	<b>▲914</b>	<b>-52.4%</b>
国内	1,746	3.8%	832	1.7%	▲914	-52.4%
海外	0	0.0%	0	0.0%	0	0%
<b>成形品事業</b>	<b>42,540</b>	<b>92.9%</b>	<b>46,395</b>	<b>93.4%</b>	<b>3,854</b>	<b>9.1%</b>
<b>その他の事業</b>	<b>3,246</b>	<b>7.1%</b>	<b>3,265</b>	<b>6.6%</b>	<b>18</b>	<b>0.6%</b>
<b>連結売上高</b>	<b>45,787</b>	<b>100.0%</b>	<b>49,660</b>	<b>100.0%</b>	<b>3,872</b>	<b>8.5%</b>

## 設備投資額

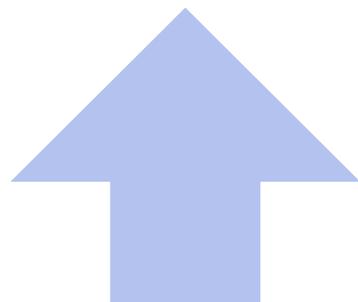


## 減価償却費



# 中長期対応方針の取り組みについて

厳しい事業環境の中においても安定して  
継続的に事業展開できる企業



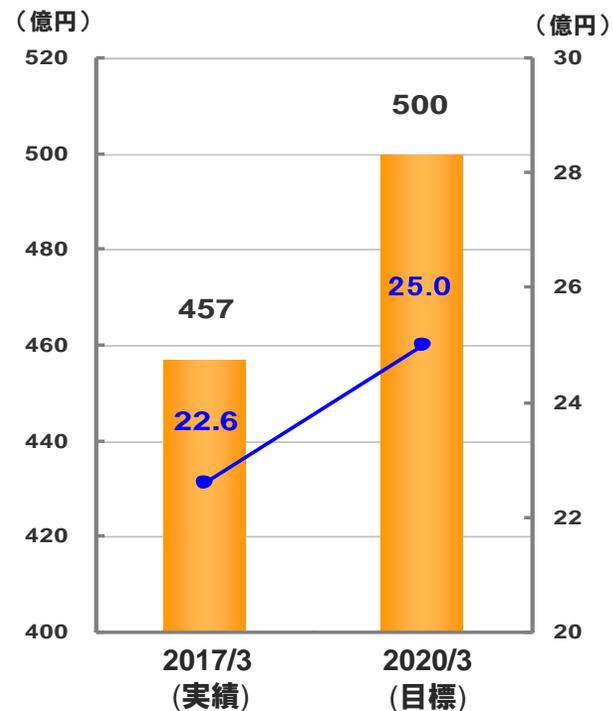
国内収益基盤の強化

海外収益基盤の強化

事業運営基盤の強化

## 2020年3月期 数値目標

■ 連結売上高 ● 連結経常利益



## 国内収益基盤の強化

- 生産品目の選択と集中
- 新規分野・お客様の開拓
- 差別化技術の開発
- 効率生産体制の確立

## 海外収益基盤の強化

- 海外市場の見極めと投資検討
- 効率生産体制の確立

## 事業運営基盤の強化

- 人材の育成
- 内部統制システムの充実
- 組織運営体制の更なる強化
- 環境にやさしい企業活動
- 財務体質の強化

## 医療機器分野製品である「針無し注射器」の生産準備を推進中



針無し注射器



当社が生産する「シリンダー」(写真上)と「プランジャーロッド」(写真下)



クリーンルームの建設完了



針無し注射器(シリンダー・プランジャーロッド)を生産する一部成形機が稼働開始

## 中国(武漢地区)での車両部品 生産設備を増強



- 中国で増加する塗装品の受注に対応するため、塗装ラインを増設
- お客様の高品質要求に、高効率での対応が可能に

## インドネシアでの大型車両部品 生産設備を増強



- バンパーなどの大型車両部品の受注増加に対応するため、3,000t射出成形機を増設

本日はありがとうございました。



株式会社タカギセイコーは、  
プラスチック部品メーカーのリーディングカンパニーであり続けたい・・・

**[IR連絡先] 経営企画部**

TEL 0766-24-5411 FAX 0766-23-3101

E-mail IR@nts.takagi-seiko.co.jp

<http://www.takagi-seiko.co.jp/>

# 参考資料

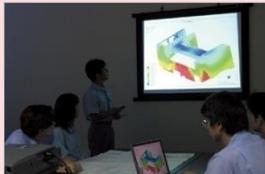
	1949～	1960～	1970～	1980～	1990～	2000～	2010～
最先端技術の追求	<p>1949年 日本で初めて紡績機器部品のプラスチック化に成功</p> 	<p>1969年 回転成形を開始 過酷なモトクロスに対応するガソリンタンクが好評</p> 	<p>1989年 日本初のRIM成形法を開発</p> 	<p>2006年 日本で初めて燃料タンクの米国燃料透過規制に対応</p> 	<p>2007年 ナイロン樹脂を用いた二輪車燃料タンクを開発</p> 	<p>2016年 樹脂とガラス繊維の複合材による自動車構造部品を開発</p> 	
	製品分野の拡大	<p>1957年 マイカー時代の到来、車両部品に進出</p> 	<p>1967年 カメラのボディや精密部品の開発</p> 	<p>1977年 スタイリッシュな二輪車カウリングに人気集中</p> 	<p>1982年 OA機器、電子機器、情報関連機器の需要に対応</p> 		
グローバル展開						<p>1995年 高木精工(香港)有限公司を設立</p>	<p>2001年 中国(上海)に進出</p>
					<p>1995年 中国(広州地区)に進出</p>	<p>2003年 インドネシアに進出</p>	<p>2006年 タイに進出</p>

## ○ TS生産一貫システム（商品企画・設計から製品完成まで自社で一貫生産）

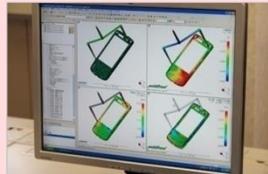
- 顧客ニーズに迅速に対応
- 長年培った技術力を活かした顧客との共同開発

- 独自の成形技術を保有
- 顧客の要求に適した成形法により提案

商品企画



デザイン・設計



金型設計・製作



成形加工



組立・塗装



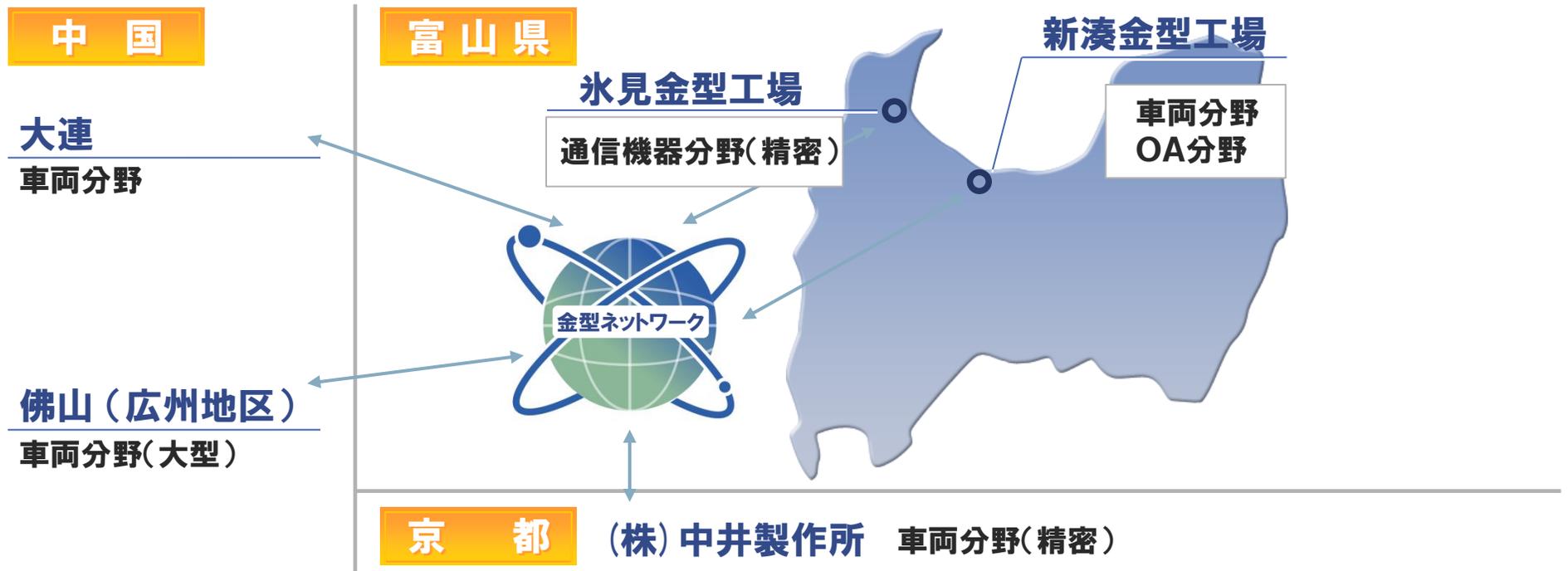
仕上げ・検査

コンクリート・エンジニアリング・システム

- 日本を中核とするグローバルな金型ネットワークを形成
- 三次元データを用い、高精度・短納期・低コストを実現
- 成形部門と連携することで、新製品の垂直立上げ及び機能追加などの迅速な対応を実現

- 多様な加飾要求に応える塗装、金属蒸着技術を保有
- ユニット化に対応できる組立ノウハウを保有
- 各種検査機器の保有（三次元測定器、振動試験器等）

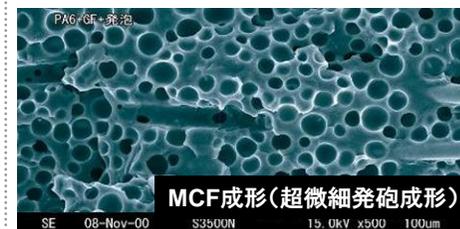
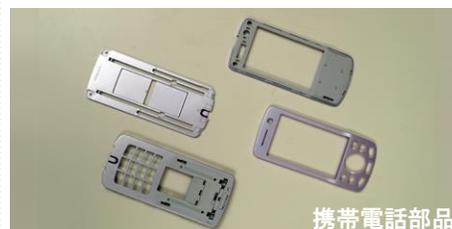
- 三次元データを用い、CAD・CAM・CAE・CATの情報を共有することで、高精度・短納期・低コストを実現
- 日本を中核とするグローバルな金型ネットワークを形成
- 成形部門と連携することで、新製品の垂直立上げ及び機能追加やマイナーチェンジへの迅速な対応を実現



- 独自の成形技術を保有
- 顧客の要求に適した成形法により提案

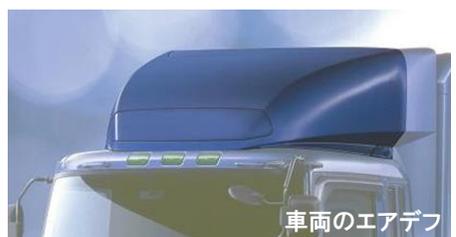
## 射出成形

大型から精密な小型・  
超薄肉製品まで、  
高速で量産



## RIM成形

デザイン性や強靱性が  
求められる乗用車や  
住宅など超大型製品



## 押出成形

パイプなど断面が  
同一形状の製品に適す



## 回転成形

複雑なフォルムの部品を  
一体成形し、剛性、  
機密性が高い

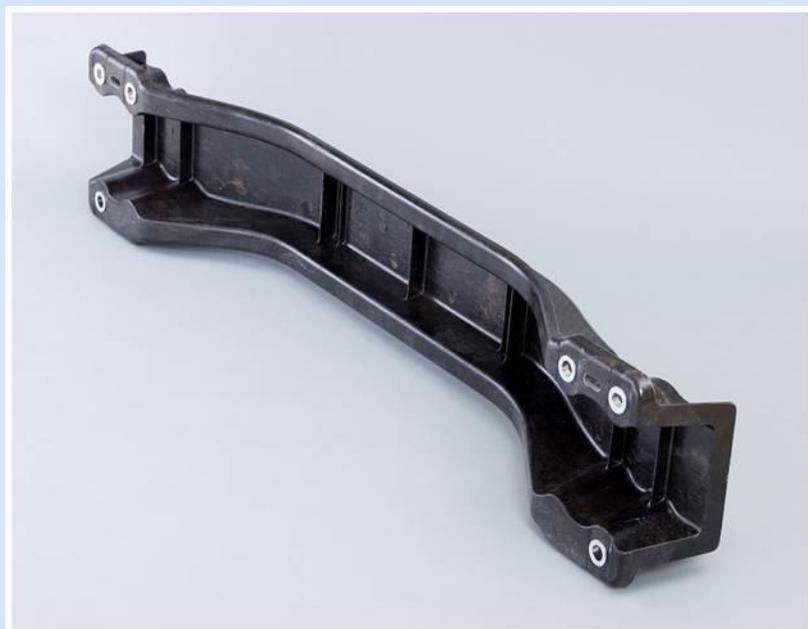


## ブロー成形

機能性と高外観性を  
追求する異形ブロー製品

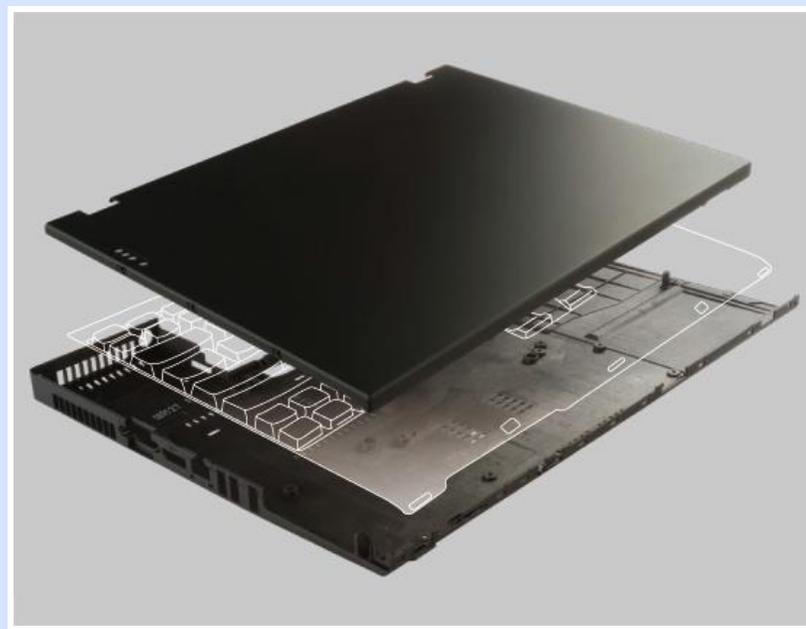


## 高度複合材加工技術(TS高速スタンピング成形システム)



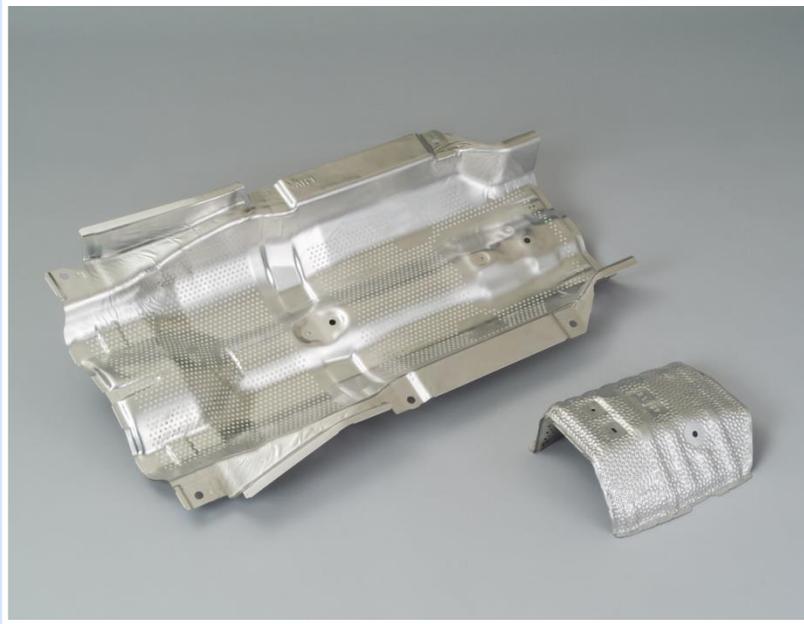
四輪用構造部品

## CFRP加工技術



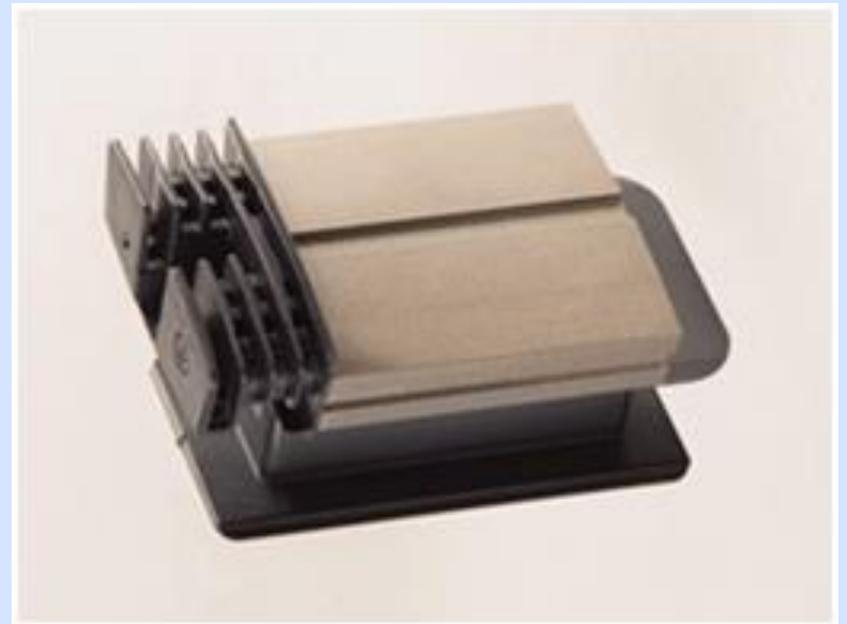
パソコン筐体部品

## 金属プレス技術



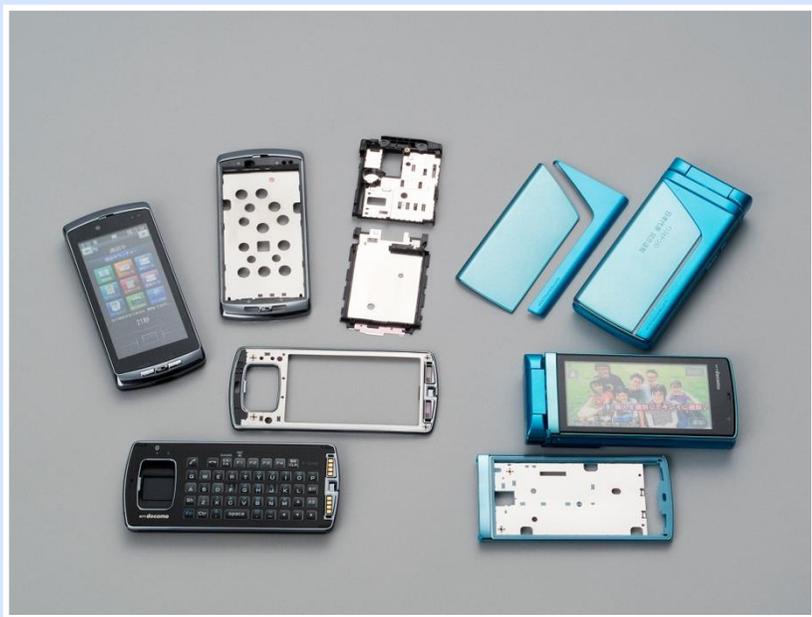
四輪用消音・遮熱部品

## インサート成形(ハイブリッド成形)技術



四輪用モーター部品

## 高剛性・加飾技術



## 防水対応技術



## 当社が目指す世界5極体制

欧州では樹脂製品への需要が強く、  
拠点の整備が課題

欧州

中国での「モノづくり」は  
単に低賃金・低価格だけを求めず  
常に技術と品質を訴求する

中国

北米への本格的な進出が課題

北米

日本

研究開発のコア拠点、世界への情報発信基地  
日本国内における「モノづくり」にこだわり続ける

東南アジア

東南アジアでの  
更なる対応を実現

- ◆ 本社
- グループ会社
- パートナー企業

### グローバル・サプライヤーの条件

- 製品の品質、納期、コストを改善できる独自の技術力
- 自らが主導して顧客にソリューションを提案する能力
- 安定した顧客基盤と業績に基づく、企業としての信頼